

日の出町のプロジェクト、講師・演出にプロダンサー菅原小春の派遣が決定

Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13

「放課後ダイバーシティ・ダンス」 ワークショップ参加者募集開始

Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13の「放課後ダイバーシティ・ダンス」(After-school Diversity Dance、略称ADD)は、東京・日の出町でのプロジェクト始動に際し、ワークショップ「ほうかごダンス教室」の参加者を募集開始します。

ADDは、子供たちが地域住民やダンスの専門家との様々なワークショップを通してシビックプライドを醸成しながら、一つのダンス作品を振付・創作するプロジェクト。日の出町を含む都内3カ所(国立市、他1カ所)で展開します。

ADD日の出町では、国際的に活躍するプロダンサーの菅原小春をワークショップ講師およびクリエイションの演出家として現地に派遣。菅原小春、日の出町の大人たち、子供たちが協働して、ワークショップとダンス作品のクリエイションに挑みます。作品は2020年夏に町内で発表し、その後、3地域のADD作品を都内に一挙上演します。

本プロジェクトは、地域に根付いた伝統芸能からストリートダンスなど現代的な踊りまで、幅広く多様(ダイバーシティ)な身体表現が築く、世代を超えた人と人とのつながりや地域への愛着など、日の出町から未来を耕す持続的なネットワークの構築を目指します。その第一歩であるワークショップに、ぜひご参加ください。



(左)プロジェクトイメージ写真(さいたまスーパーアリーナの青少年育成事業 身体表現ワークショップ「チームたまーりん」より 撮影©植田洋一)
(右)ADD派遣舞踊家 菅原小春



ADD日の出町ワークショップ「ほうかごダンス教室」

概要: 菅原小春の他に、日の出町で地域文化を支える様々な方々(地域の先輩)が講師となり、子供たちにダンスを教えます。

会場: 日の出町立志茂町児童館 遊戯室(〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井1254-1)、ほか

対象: 日の出町在住の小学生・中学生

回数: 計8回予定 ※講師・内容は毎回異なります ※1回からご参加いただけます。8回通しでの参加歓迎。

<第1回開催概要>

日時: 2019年10月3日(木)16:30~18:00(受付開始16:15) ※小学生の参加者は終了時に保護者のお迎えが必要です。

会場: 日の出町立志茂町児童館 遊戯室

講師: 菅原小春(派遣舞踊家)、地域文化を支える人(地域の先輩)

料金: 参加無料・要事前申込

定員: 約20名(お申し込み多数の場合は抽選)

※ 実施当日のご案内、抽選の結果は9月25日までにメールでお知らせします。

※ 第2回以降のスケジュール・講師は公式WEBサイトなどで随時告知します。

申込方法:

以下の内容を明記の上、メールでの申込み

①お名前(よみがな) ②性別 ③年齢 ④学年 ⑤保護者氏名 ⑥緊急連絡先

宛先: add.hinode@gmail.com

申込締切: 2019年9月23日(月) ※締切後も定員に余裕があれば参加可能

※メールをご利用でない場合は、お電話にてお問合せください。

お問い合わせ:03-6912-0945(平日10:00-18:00/SAP内 担当: 韓)

※個人情報厳重に保管し、本企画の応募者管理及び記録・連絡の目的以外に使用することはありません。

派遣舞踊家

▶菅原小春 (すがわら こはる) 振付家・ダンサー

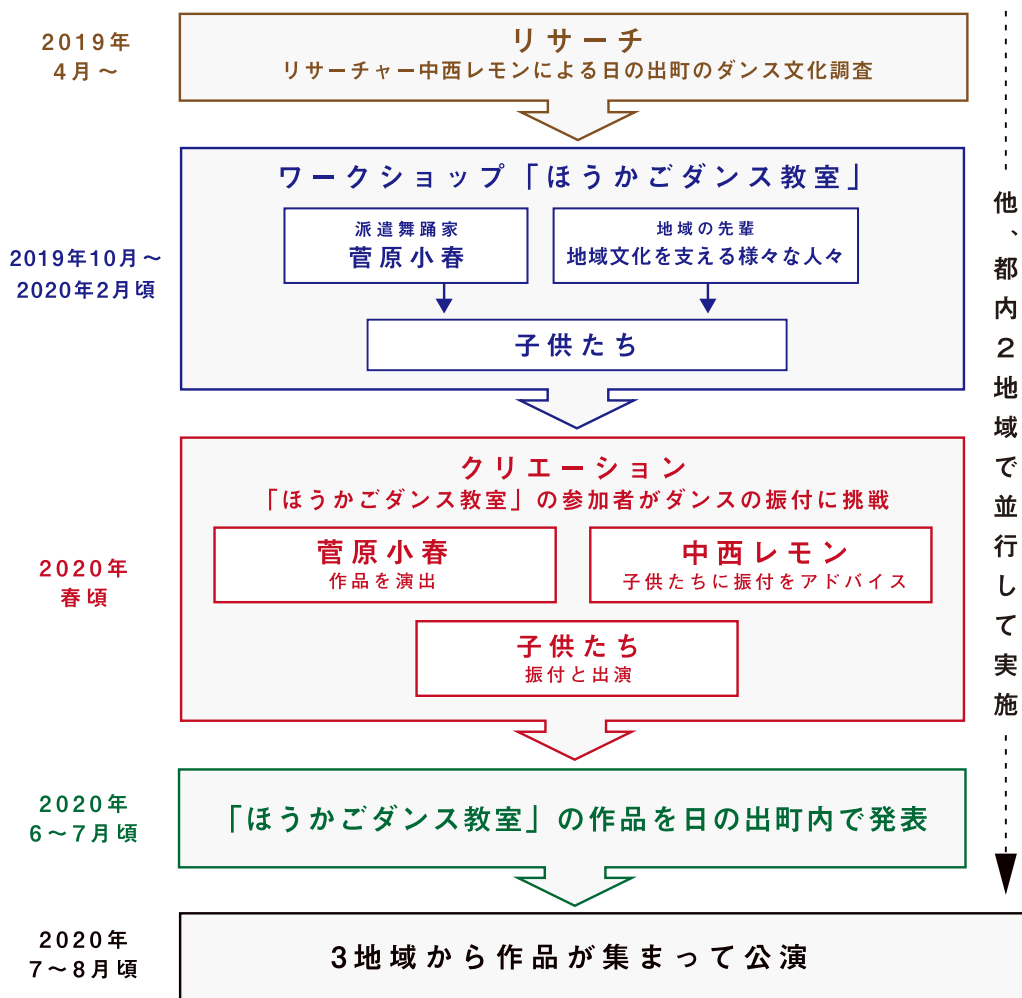
幼少期に創作ダンスを始め、小中高生の時に数々の有名ダンスコンテストで優勝。EXILE、少女時代、三浦大知、CRYSTAL KAYなどの振り付け、MV出演、Rihanna、安室奈美恵、SMAPなどのダンサーを務めた経験がある。紅白歌合戦では2016年に坂本冬美、蜷川実花、2017年に森山直太郎と共演、2018年には米津玄師とのコラボレーションを果たす。また<NHK>2020応援ソング「パプリカ」では振付を辻本智彦と共作し、日本国内にパプリカ現象を巻き起こしている。2016年、2017年と自らが演出を行った単独公演を成功させ、2019年NHK大河ドラマ「いだてん」にも出演し、女優としても活動の幅を広げている。

リサーチャー

▶中西レモン (なかにし れもん) アーティスト

主な活動として盆踊りのフィールドワークをはじめ、展示・パフォーマンスなど。現在は歌・踊り・画像をもとに「文化の移入と変容」をテーマとしたアートワークを行っている。その活動は、郷土芸能を取材した絵画展『掛唄』(2002年)、ダンス・パフォーマンスに関する上演企画「畳半畳」主催(2004~2014年)、滋賀県発祥の盆踊り唄・江州音頭を学習する会として初代桜川唯丸江州音頭通信講座「モノガタリ宇宙の会」世話人、江戸期に中国より輸入された絵画技法書を教科書とした絵画勉強会「懐烟画譜」を2016年より画家・高村健志と共催、瓦版などで流布した庶民の歌などを読み解く勉強会「庶民の芸能を読む会」(2017年~)など多岐にわたる。また、編集に『インタビュー・資料集 豊島の盆踊り音頭』などがある。

ADD日の出町 プロジェクトの流れ



※プログラムの内容等は、予告なく変更になる場合がございます。 ※クリエーション参加希望者多数の場合は選考を設けます。

主催

東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京



協力：日の出町

企画・運営：ADD実行委員会

制作（ADD日の出町担当）：韓ヨルム

問い合わせ先（ADD実行委員会 担当：林慶一）

TEL：080-5383-0577

E-MAIL：add2020.office@gmail.com



▶ 「放課後ダイバーシティ・ダンス」とは

東京にある多様なダンス文化の間に橋をかけ、年齢や性、国籍や体の違いを超えた多文化共生型のダンスを子供達と創ります。プロの振付家や、地域内で様々なダンスに関わる人などによるワークショップと、子供達の創作・発表を通じ、地域内交流を促進しつつ、一定の型を習うだけでなくダンスを「創る」発想を刺激します。学校など地域の拠点や、様々な文化的リソースを繋ぎ合わせ、ダンスが生まれる回路を地域内に構築します。

Website：http://addance.net/

文化でつながる。未来とつながる。



▶ 「Tokyo Tokyo FESTIVAL」とは

オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて東京を文化の面から盛り上げるため、多彩な文化プログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組です。

▶ 「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13」とは

斬新で独創的な企画や、より多くの人々が参加できる企画を幅広く募り、Tokyo Tokyo FESTIVALの中核を彩る事業として、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京が実施するものです。

国内外から応募のあった2,436件から選定した13の企画を、「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13」と総称し、オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて、順次展開していきます。